

Transcatheter therapy for HCCs fed by the renal capsular artery の研究について のご協力をお願い

1. 研究意義

肝細胞癌に対する経カテーテル治療は一般的に行われています。肝細胞癌は経カテーテル治療を繰り返すことで、肝外血管から栄養されることも判っていますが、一部の肝外血管から栄養される肝細胞癌に関しては詳細な情報が乏しいです。この研究は広島大学病院放射線科(放射線診断科)で腎被膜動脈より栄養される肝細胞癌に対して経カテーテル治療が行われた患者さんを対象とし、患者背景、合併症、予後を調査し、より適切な治療適応や治療法を検討し、今後の臨床に役立てます。

2. 研究の目的

腎被膜動脈は肝細胞癌を栄養する可能性のある肝外血管の一つです。しかし、腎被膜動脈より栄養される肝細胞癌の性格、患者背景や治療効果などは今まで詳細な検討がありませんでした。よって本研究によりこれらを明らかにすることで、今後の診療に有用な情報を提供できる可能性があります。

3. 研究の方法

2006年3月から2012年5月の間で、広島大学病院にて腎被膜動脈より栄養される肝細胞癌に対し経カテーテル治療を受けた患者さん(25名)を対象とします。各症例で得られた術前検査、画像検査、臨床情報(合併症、予後)をカルテより収集し、各々の所見を比較し、よりよい経カテーテル治療を検討します。

4. 研究期間

承認後 ～ 2015年3月

5. 個人情報保護の方法

- (1) 対象患者さんのカルテ、画像に記載された個人情報はすべて匿名化した上で研究に使用します。
- (2) 学会誌や学会での発表等、調査結果を公表する際、個人情報は一切公表しません。
- (3) この研究で収集したすべての情報は、この研究の目的以外では使用いたしません。
- (4) データは外部と独立したコンピューターで管理し、パスワードによるログイン機能の付加、コンピューターをセキュリティーの厳重な部屋に保管する。
- (5) 収集した患者さんのデータは、研究公表後データはすべてコンピューター上から削除、書類はシュレッダー等で処理した上で廃棄します。

6. この研究に関してお問い合わせ、ご意見がございましたら下記にお問い合わせ下さい。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出下さい。お申し出頂いても今後の診療等に不利益を生じることはありません。

研究機関・研究責任者

広島大学病院放射線診断科 助教 石川雅基

連絡先 広島大学放射線診断科 082-257-5257